看護こうち

No. 162
2024年 1月

Kochi Nursing Association Official Newspaper

●発行所：公益社団法人 高知県看護協会　高知市朝倉己825－5　TEL 088-844-0678　FAX 088-844-0053
URL http://www.kochi-kangokyokai.or.jp　E メール info@kochi-kangokyokai.or.jp
●発行責任者：藤原房子

会員数	6,063名
保 健 師	113名
助 産 師	152名
看 護 師	5,566名
准看護師	232名

（2024年 1 月 1 日現在）

「令和６年度継続のお知らせ」は届きましたか？
年に１度の大切なお知らせです。
必ず内容のご確認をお願いします！

公益社団法人高知県看護協会

新年のご挨拶

公益社団法人高知県看護協会
会長　藤原　房子

新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

また、日ごろは当協会事業の推進にご支援・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が５類になったとはいえ、医療・介護等の従事者にはこれまでと同様の感染対策が求められています。日々、看護にあたっておられる医療・介護・福祉施設、行政等の看護職の皆様に心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

さて、当協会ではこれまでも地区支部と連携して、地域災害支援ナース育成研修や多職種事例検討会などを開催してきました。また、昨年は各地区支部にお伺いし、地区支部での活動やご意見をお聞きするとともに、看護協会から情報を発信してまいりました。今後も地区支部の皆様と情報交換をしながらさらなる連携をすすめていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

本年４月から感染症法及び医療法の改正に伴い、災害と新興感染症に対応できる新たな災害支援ナースの制度が始まります。当協会では、令和５年度から新たな災害支援ナースの育成研修を始めており、令和６年度以降も引き続き、日本看護協会や県と連携しながら災害支援ナースの育成に取り組んでまいります。会員の皆様にはこの仕組みについてご理解をいただくとともに、大規模災害発生時や感染症蔓延時には応援派遣にご協力をよろしくお願いいたします。

わが国では2040年に向け、人口構造が変化し、超高齢少子社会に突入していきます。看護の場も病院から地域へとさらに拡大し、特に在宅看護、介護領域で看護職の不足が深刻です。少子化が進むなか、看護の担い手を確保するために、若者に看護職を選択してもらえる取り組みや看護職資格を持った人が、働き続けられるための環境整備が不可欠です。

当協会では、これからも急性期から慢性期、在宅、小児、高齢者などさまざまな場で活躍できる看護人材の育成に向けた研修事業を行います。本年も会員の皆様にご協力を頂きながら事業を進めてまいりたいと思います。引き続きよろしくお願い申し上げます。

今年が平和で穏やかな年になりますよう会員の皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈りして、年頭のご挨拶といたします。

令和５年度　高知県功労者表彰受賞　おめでとうございます

芸西病院看護部長の角谷広子様が、令和５年度高知県功労者表彰（保健衛生関係）を受賞されました。

芸西病院の訪問看護ステーションの開設・発展に尽力されたほか、県東部の地域住民の心身の健康支援、疾病予防に寄与されました。また、精神科看護のテキスト執筆や講師を務めるなど精神科看護の質の向上及び人材育成に貢献されました。

受賞おめでとうございます。

職能委員会活動のご紹介

看護師

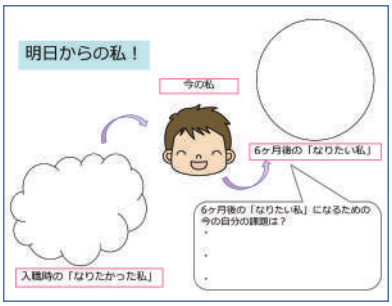
看護師職能委員長　岩﨑　美幸

看護師職能委員会が開催する「多施設新人看護師交流会」は、多施設の新人看護師と交流することでお互いの悩みや想いを出し合い、リフレッシュできることを目的に毎年10月に開催しています。今年は11施設から36人の新人看護師が参加しました。新人看護師は、グループ演習を進める中で自分自身の価値観を自覚し他者との違いを認識していました。そして自分自身の状況を振り返り「誰も同じような悩みがある」と実感していました。演習では、就職してから今までの看護師としての気持ちの変化や成長と、これからの目標と課題を図１にまとめ発表しました。

研修後のアンケートの自由意見では、「これまでの経験を振り返ることができた」「他施設の方と交流する機会がないためリフレッシュになった」「これからの看護に活かしたいと思った」などの意見がありました。

次年度も多くの施設から参加をお願いします。

図１



助産師

助産師職能委員長　嶋岡　暢希

Ｒ５年度助産師職能研修会
「不妊・不育の悩みをもつ対象への支援」の様子

助産師職能委員会は「母子のための安心・安全な地域包括ケアシステムに関する助産師の実践活動や、働き方における課題について、情報共有を図る」、「ウィメンズヘルスケアに関する研修会や学習会を通じて女性の生涯を通した助産師の実践活動について検討する」という方針に基づき活動しています。委員会では和気あいあいとした雰囲気の中で助産師職能研修会・助産師交流会・新人助産師研修会等の企画の検討、県内小・中・高校で助産師が実施する「いのちの教育」出前授業の情報共有や意見交換、ウィメンズヘルスに関する学習会等を行っています。助産師職能では助産師独自の強みも活かしつつ、様々な職種とつながりながら出産・子育て支援と女性の生涯を通した健康に寄与できる活動に取り組んでいきたいと考えています。

保健師

保健師職能理事　窪田　純子

私たち保健師は、新型コロナウイルス感染症の猛威を経験したことで、改めて保健師の持つ公衆衛生の視点の重要性や看護職間の連携の必要性を実感しました。

一方でコロナ禍に採用された保健師の不安や悩みへの相談、人材育成に時間をさけなかった現場の実態を振り返る中で、健康危機管理だけでなく、日頃の住民との関係づくりや保健活動が担える保健師の育成に取り組んでいく必要性も感じています。

日看協では、保健師活動指針の改定や、それに伴う保健師の資質向上のための研修プログラムの検討が行われていますが、全国共通で学ぶ保健師に求められる機能と高知県の保健師マインドを引き継いでいく要素を融合していくために保健師職能委員会はOJTによる育ちあいの機会を現場で作っていくことや、３職能が一緒に活動する機会を意図的に持つことで、保健師が育ちあう機会を作っていきたいと考えています。

幡多ブロック保健師部会研修会　令和５年８月31日

令和５年度地区支部活動報告

室戸・安芸地区支部　　支部長　国藤　美紀子

10月29日　あき元気フェスタ「まちの保健室」

室戸・安芸地区支部は、地域とのつながりを大切に積極的に活動に取り組んでいます。10月29日は、４年ぶりに通常開催となった「あき元気フェスタ」に４名が参加し、「まちの保健室」コーナーで、助産師による授乳・育児相談や性教育の紙芝居、妊婦体験、赤ちゃんのお世話体験、ナース体験を催し、2～15歳のお子さんやその保護者ら20名と楽しくふれあいました。看護職に興味を持ってもらう機会となり、今後もこのようなイベントで交流を増やしていきたいと感じる貴重な経験となりました。

11月25日
地域災害支援ナース育成研修【実務編】

11月25日は、地域災害支援ナース育成研修【実務編】を土佐山田・本山・南国地区支部との合同により地域のDMATの皆さんを講師に対面で実施しました。遠くは県西部からの参加もあり、災害現場をイメージしながら真剣な中にもわきあい合い、災害時に力となる顔なじみの関係づくりも大きな成果となりました。

土佐山田・本山・南国地区支部　　支部長　小笠原　美和

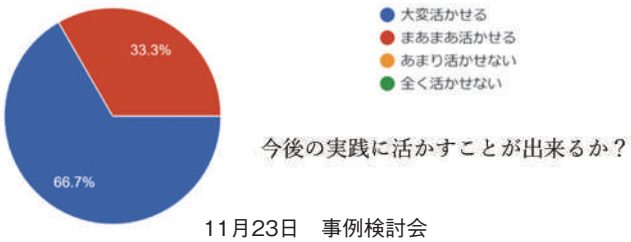
新型コロナウイルスが５類となり、中止されていた多くの行事が徐々に再開されました。11月には「香南市高齢者クラブ運動会」が開催され、救護を担当させて頂きました。また、東部１・２地区合同（主催：東部１地区）で「地域災害支援ナース（実務編）」を開催、12月には事例検討会を行いました。

事例検討会では、高知大学医学部附属病院がん看護専門看護師の門田麻里様を講師に『ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について学ぼう』について、講義・事例検討、「もしばなゲーム」を実施しました。７施設12人にご参加頂き、「基礎知識だけでなく、すぐに実践できる内容であった」「ゲームでは、色々な価値があることに気づけた」など評価頂きました。高齢者の看取りや認知症の方など様々な対象のACPについても意見交換したいとの声がきかれており次年度に繋げていきたいと考えています。

高知市西地区支部　　支部長　池田　有加

上半期は、北地区と合同で「地域災害支援ナース育成研修（基礎編）」「感染対策研修」を行いました。様々な災害と多様化する健康ニーズへの対応や支援ナースの役割、トリアージの基礎知識について、また新型コロナウイルス感染症が５類へ移行後の対応等 具体例を用い講義をして頂きました。下半期は「事例検討会」を北地区と合同開催を行い、参加者からも「色々な視点からケースを捉えることができ視野が広がった」等のご意見を頂きました。次年度は、看護協会活動を地域の方々に知って頂く機会を設ける予定です。

今後も、皆様の要望に即した活動を通じて、地域への貢献、看護職の啓蒙活動を展開していきたいと思っております。



11月23日　事例検討会

高知市北地区支部　　支部長　小松　ゆり

コロナ感染症が５類へ移行され、学会や研修会が通常開催されるようになりました。北地区支部でも、イベントへの参加、北・西地区合同での研修会・事例検討会を開催しました。多くの皆様に参加を頂き、ありがとうございました。

高校生を対象とした「ボランティア研修会～福祉体験スクール～」が４年ぶりに開催され、看護部門として参加しました。「私の幸せ・あなたの幸せにつづく看護の道」と題して、看護学校教員、助産師、看護師（ＯＰ室勤務）、特定行為研修修了看護師による講話と、演習で看護の魅力や醍醐味を伝えることができたのではないかと思います。

研修会は、２名の感染管理認定看護師を講師に招き「新型コロナウィルス感染症対策：２類から５類へ移行し臨床ではどのように対応するか」をテーマに開催し、56名の参加がありました。事例検討会は21名の参加があり、高齢者事例を用いて活発な意見交換ができました。西・北合同開催は初めての試みでしたが、多くの施設の方に参加を頂いて有意義な情報交換の場となったと感じております。

北地区支部では、皆様のご要望に沿った活動をめざしております。

須崎・窪川地区支部　　支部長　樋口　容子

須崎・窪川地区は、委員８名で構成されております。コロナのため様々な行事を中止してまいりました。今年度、上半期の行事はありませんでしたが、下半期では10/21、吾川・佐川地区合同で「地域災害支援ナース基礎編」を須崎市文化会館で行い、県立大学の竹崎先生や高知医療センターの岡崎先生を講師に26名に参加していただきました。

12/16、吾川・佐川地区と合同で「令和５年度　事例検討会」をくろしお病院の大会議室で行いました。36名の参加者を６グループに分けて検討し合いました。あっという間の２時間が過ぎ、有意義な意見交換ができました。

今後、2/3（土）吾川・佐川地区との合同で「令和５年度　保健・福祉・医療実践発表会」を須崎市市民文化会館で予定しております。演題も各施設よりご協力いただき、感謝申し上げます。先輩委員の方々に指導をしていただきながら発表会が開催されるように頑張って参ります。お時間のある方は、参加お待ちしております。

幡多地区支部　　支部長　伊賀　世起

新型コロナウイルス感染症の５類への移行を期に、これまでの未知の体験がもたらしたものは大変さだけではなく新な課題や絆など考えさせられることが多くありました。社会活動も活発化し、コロナ禍を脱しての４年ぶりの開催となった第29回四万十川ウルトラマラソンへは23名の看護師派遣を皮切りに、事例検討会（ACP）、看護フェア in HATA、地域災害支援ナース育成研修を無事開催することができました。現在は、２月の支部企画の看護研究学会の開催準備を進めております。

幡多地区支部は、幡多地域の看護部長会と同日開催をしており、今年度は看護管理者が抱える課題等をテーマに、これまで３回の意見交換会を実施しました。地区支部事業計画に加え、施設間のこれまで以上のつながりをベースに地域課題に対応できる活動を目指します。

看護フェア　in　HATA

事例検討会

地域災害支援ナース育成研修

研修報告

看護師基礎教育を考える会

12月９日に「看護師基礎教育を考える会」を開催しました。本会は、基礎教育をめぐる現状と課題をもとに基礎教育４年制化の意義や必要性について考えることを目的に実施しました。

日本看護協会常任理事田母神裕美氏のご講演の後、「高知県における看護師基礎教育の現状と課題そして未来へ」をテーマにシンポジウムを行いました。シンポジストには、高知大学看護学部門山脇京子氏、龍馬看護ふくし専門学校石元美佐氏、近森病院森本志保氏、高知県医療政策課久保田富女氏（敬称略）の４名の方に各々の立場からの現状と課題について語っていただき情報共有の場となりました。

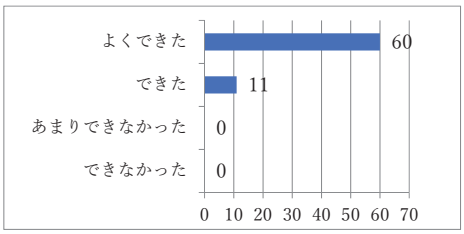
将来を支える看護師養成のため、基礎教育の教育年限や教員の質の担保、臨床との連携・協働のあり方についてなど未来に向けて議論することができました。基礎教育の４年制化に向けての課題は多いですが、これからの社会・医療・福祉に対応できる看護師を育成できるためにどのように行動するのかを考える機会となりました。

臨床看護研修「急変時対応に自信を持とう」

11月30日から３日間、演習を中心にした急変時対応の実技研修を開催しました。

この数年コロナ禍で本会の新人研修「救急対応」で演習が出来なかった、臨床経験３～５年程度の看護職を対象とし合計72名の参加がありました。

研修内容の満足度



感想として「充実して有意義な時間を過ごせた。病棟に持ち帰りスタッフ間で共有したい」「急変になる前の状況、急変時の対応が分かりやすく、病院へ帰っても対応が出来る」「座学と併せて演習を体験し、知識が深まった」「自信のなかった急変時対応に少し自信がついた」などの記載がありました。

受講生が現場で活かせることを期待しています。

医療的ケア児等のための看護技術研修

県内の福祉サービス事業者や訪問看護ステーション、特別支援学校などに勤務する医療的ケア児等のケアに携わっている看護師、今後医療的ケア児等のケアに携わる希望のある方を対象に、11月25日に高知県立大学において研修を実施しました。

受講生からは、「事前学習動画で前もって知識や手技を確認でき研修を受ける準備ができた」「少人数であり、演習でも細かな説明や小さな疑問にも説明があり、不安が軽減した」「日頃の疑問点が解消でき、以前よりは少し自信をもって対応できると思う」「他のスタッフにも受けてもらいたい」等の言葉が聞かれました。研修開始時は講師・受講生ともに緊張しながらでしたが、時間が経つにつれ、笑い声も聞かれ和やかな雰囲気で研修を終えることができました。

次回は、令和６年３月２日（土）を予定しています。

経管栄養

カニューレ交換

研修の様子

研修申し込みシステム「Kangonoto」よくある質問をPick Up!!

Q. 会員として研修に申し込みをしたのですが、非会員価格の振込み依頼メールが届きました。なぜですか？

A. 研修申し込み日時点で、当年度会費納入がKangonoto上で納入済となっている方を「会員」、未納入の方を「非会員」としています。よって、研修申し込み時点で会費未納入の方の受講料は非会員価格となります。
会費のお支払い状況が会員システムからKangonotoに反映されるのは、２～３週間かかりますのでご注意ください。

Q. 施設アカウントから研修に申し込みましたが、受講生の変更は可能でしょうか？

A. 有料・無料研修ともに研修日３日前（土日祝は除く）まで変更可能です。
有料研修の場合（受講料納入後）は受講料が同じ　会員⇒会員、非会員⇒非会員への変更に限ります。変更をご希望の場合は、県協会までご連絡ください。
ただし３日前を過ぎますとご対応できませんのでご注意ください。

令和５年度 看護協会看護研究学会
「自分らしく生きるを支える ～切れ目のない看護～」

2024年２月23日（金）9：00～13：30
高知県看護協会会館にてKangonotoより事前お申込みお願い致します。（１月23日迄）
申込入金確認後に集録を発送させていただきます。
会　員　3,300円　非会員　5,500円（集録代込み）

シンポジウム「高知家ONE　TEAMでつなぐACP」
座長：高知県立大学看護学部　准教授　森下　幸子

・行政の立場から
　高知県在宅療養推進課 課長　都築　一元
・医師の立場から
　伊与木クリニック 医師　伊与木　増喜
・急性期病院看護師の立場から
　高知大学 医学部附属病院 緩和ケア認定看護師　佐々木　牧子
・訪問看護師の立場から
　こうち看護協会訪問看護ステーション 所長　山本　明子

コロナ禍を経て今年度は高知県看護協会会館にて集合での開催予定です。
20題を超える演題応募を頂き、内容も看護教育・看護実践・安全感染管理・災害対策と様々です。
みなさんのご参加と活発な意見交換をお待ちいたしております。

NEW

令和６年度専任教員養成講習会開催予定

高知県で初めての開催です。近々、「募集要項」をホームページに掲載予定です。

令和６年度 高知県看護協会奨学金の応募について

令和６年度看護師養成所２年課程及び専門看護師教育課程奨学生を募集します。
応募資格、応募方法等の詳細は、当協会ホームページにてご確認ください。
応募受付期間：令和６年２月１日（木）～２月22日（木） 必着

りレーエッセイ

私の癒し時間

佐川町立高北国民健康保険病院　**森本　真由**

手先が不器用で料理も苦手な私が、ふと家の隅に追いやられていたホームベーカリーを見て食パンを焼いたところ、その美味しさ、香りに魅了され、パン作りにはまりました。家族や友達から「美味しい」と言われるのが嬉しく食パン、菓子パン、総菜パン等々、休みの日は捏ねては焼いてを繰り返しています。パンだけでは終わらず焼き菓子作りにもはまっています。焼きたてのパンや、お菓子からは幸せの香りが漂い癒し効果抜群です。レシピを考える時間も不規則な仕事との合間に頭を切り替えるリフレッシュタイムとなっています。

理事会報告

《第５回理事会》令和５年11月11日（土）

Ⅰ　審議事項
1．上半期事業報告及び決算報告　承認
2．上半期監査報告　承認
3．高知県看護協会規程の改正等について　承認
4．令和６年度重点事業案　承認
5．令和６年度改選役員及び定数　承認

Ⅱ　報告事項
1．令和５年地区別法人会員会・法人会員連絡会報告
2．業務執行理事の職務報告

《第３回常任理事会》令和５年12月８日（土）

Ⅰ　協議事項
1．令和６年度重点事業案　報告

編集後記

暦の上では大雪ですが、暖かく過ごしやすい日々が続いていますね。
我が家は子ども達の習い事が忙しく、なかなか家族揃って出かける機会がありません。そんな気忙しい生活の中でも、最近、私が楽しんでいることは、子どもの習い事の帰り道に星空を眺め、自分たちが知っている星座を探すことです。特に冬の晴れた夜空は澄み渡り、星の輝きがより一層際立っています。夜空を美しく彩る星たちは、ネガティブな気持ちを一瞬忘れさせてくれ、心が洗われるような気持ちにさせてくれます。
広報出版委員会では、これからも皆様の就業に彩りが添えられるような情報発信に努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（広報出版委員　西森明日香）

●令和５年度広報出版委員：福留　裕美（JA高知病院）、深木　智与（国立高知病院）、山脇　寛子（近森病院）、西森明日香（細木病院）、川島　加奈（高北国民健康保険病院）、吉永　恵子（事務局）
●印刷：西富謄写堂